



絵は河野香代美さん（深川1丁目）

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会

令和5年12月27日に高陽公民館で子どもたちと地域団体が一緒に、「柱の4」（らかわの輪）活動を行いました。右の写真はその時の料理教室で作った、とってもおいしいピザを、子ども達が食べているところです。



深川では地域の行事や田圃からのかかわりを通して、近隣どうしの顔の見える関係があります。これまで以上につながりを強化し、地域住民が安心して過ごすことができる地域にするために、深川社協では次のようなことを行つていただきたいと思います。

〈柱の1〉 健康づくりと交流を目的として、深川地区的高齢者や子どもが参加する健康ウォーキング行事を実施します。

〈柱の2〉 花壇整備運動を実施します。女性会やその他団体が一緒になって、地域にある施設の花壇整備を行います。

〈柱の3〉 いきいきサロンの充実を図り、高齢者の外出の機会を増やし、サロンへの参加者同士が見守り合いつゝ関係を深めます。また高齢者の見守りのために学習会・研修会を実施します。

〈柱の4〉 子ども達と地域団体が一緒に、工作教室や学習会、体験活動、料理教室などをを行い、子ども達と地域の皆さんとの交流を深めます。

〈柱の5〉 地域住民の交流促進と地域活動の理解を深めるため、深川社協の広報活動を充実させます。

以上5本の柱を進めていきます。「これならできるよ。」「これには参加するよ。」といつも皆様の声が一番うれしいです。お待ちしております。

「地域のつながり強化事業」  
を進めます

## ふかわの輪「キッズイベント」開催

12月27日に高陽公民館でふかわの輪「キッズイベント」を行いました。深川地区協の「地域のつながり強化事業」の一つ「子どもと地域の交流」での企画でした。深川地区社協主催のため、子ども会加入も参加できました。また、地域の団体の皆さん、学生ボランティアなどの協力を頂くことができ、

- ①ミニ門松作り
- ②ピザ作り
- ③紙笛作り
- ④虹の万華鏡作り
- ⑤けん玉体験
- ⑥冬休みの宿題と、盛り沢山の内容で行う事が出来ました。



子供たちは「優しく教えてもらえて

よかったです」「色々ものを作れて楽しかった」、保護者の方からも「楽しんで満足して帰ってきました」となりました。地域団体の皆様も子ども達と楽しそうに会話しながら参加しておられ、沢山の笑顔が溢れ

るイベントとなりました。  
このような地域の交流の輪が広がっていよいよ、令和六年度も開催しますので、ご協力、ご参加をよろしくお願ひいたします。

深川学区子ども会育成協議会会長

岡野 由佳

### 柱の2

#### 花いっぱい運動 中深川駅構内の風景



令和5年10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金にご協力いただきました。深川地区においては、六十六万四千二百十五円のご支援をいただき、安佐北区社協を通じて共同募金会へ送金いたしました。  
赤い羽根共同募金は、一部が還元され、地域の福祉活動の財源となります。皆様のご理解と一層のご協力をお願いします。

深川地区社会福祉協議会

#### 赤い羽根共同募金のお礼

# 高陽公民館まつりに出展しました

## 展示物紙上紹介

今回の展示は、「地域コミュニティー活動の紹介」というテーマで行いました。

福寿会、女性会、子ども会など、深川地区の社会福祉協議会を

構成する14の団体の日頃の活動を、写真を中心に寄せていました。

お祭りやいきいき

サロン、深川小学校の稲作り体験など、皆さ

んの活躍の様子をお伝えすることが出来ました。

いろいろなところで活動しておられることが知っています。



## 大盛況 野菜コーナー

さる、11月26日に開催の、高陽公民館まつりに於きました。深川地区社会福祉協議会としては、初めての野菜産直市を開きました。

野菜の端境期でもあり十分な野菜が集まるか不安もありましたが、町内には野菜作りの達人が多いと見えて、役員の皆様の声掛けにより、予定していた

以上の野菜が集まりました。この度の野菜は、ふかわの朝採れやさいをすべて無料で提供いただき、閉会前には完売を致しました。達人の皆さんには心より感謝申し上げます。

また、売上金は深川地区社協の活動資金として有効に使わせていただきますので、今後ともご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。



## 愛のともしび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立てくださいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申しあげます。（令和五年七月～十二月）

藤野 かずえ（深川五丁目）

古河 和博（深川七丁目）

大下 秀明（深川一丁目）

岡本 都（深川六丁目）

小泉 敬（中区河原町三丁目）

平岡 洋子（深川四丁目）

増井 俊博（深川五丁目）

大屋 みどり（深川一丁目）

（受付順 敬称略）

香典・見舞い返し・その他皆様の善意の募金をお寄せください。お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただいております。

福祉部長 東 美貴子

事業部長 大下 秀明

【深川地区社会福祉協議会】



## 深川学区防災訓練をおこないました。

昨年11月18日に深川学区では8年ぶりとなる防災訓練を行いました。

『震度6強の地震で家屋の倒壊、道路の寸断があり』という想定で各自治会の安全な場所に集合し、安全な道を選んで通り一時避難をしていただきました。

各自治会から数名、最終避難場所(高陽中学校体育館)に避難してきてもらい、簡易トイレや段ボールベッドの作成、備蓄倉庫に入っている物の確認などをしてもらいました。

この日は雪のまざる雨が降り寒い日でしたが、訓練の終わりには女性会の皆さんで作ってくださった、熱々の炊き出しが振る舞われ、すごく美味しかったです。沢山の方々のご協力があり防災訓練を無事に行うことができました。

今年に入り、能登半島では震度7の大地震がおきました。いつ、どこで起こるか分からぬのが災害です。

自分の一番大事な命、自分でしっかりと守りましょう。

深川学区自主防災会 会長 松本 正樹



尾和の人々は舟の安全を祈って、尾和八幡神社の一段下に金比羅神社を建てました。その頃はたくさんの人が参詣し、お祭りの日には大変賑わっていたといわれます。尾和八幡神社は歴史のあるお宮で、長い間尾和の地を見守っていましたが、大正14年(約100年前)に亀崎神社に合祀されたため、空いた社殿に夢毘良神祇をお祀りし、金比羅神社となりました。春と秋に宮司を招いて祭りを行っています。

神社の裏山には尾和城跡があり郭や空堀など昔をしのぶことができます。又、神社の石段を少し下ると左に小さな「あみだ堂」があり、中秋の名月の日に善徳寺の住持を招いて祭りを行っています。さらに、善徳寺屋敷横の道路の東側に小さな社「尾和大歳社」が建っています。この社の御神体は流れ着かれたと伝えられ、昔は子とも達が背負って三篠川で水遊びをしていました。身近な神様として親しまれお祀りしていたものと思われます。毎年11月に宮司を招いて祭りを行っています。

約50年前までのどかな農村風景の深川地区は、かつての面影が消え、時代の流れを強く感じますが、昔から続く行事、祭りなどは今も変わらず受け継がれています。これからも大切に守り継いでいきたいものと願っています。

深川郷土史研究会

升尾 成美



尾和金比羅神社

### ふかわの昔 尾和編その2

尾和は江戸時代初めから明治の初め頃まで、下庄と共に年貢米などを運ぶ舟運の重要な拠点でした。又、三篠川沿いの人々にとっても川舟は重要な交通機関でした。米・炭・薪・麻などを積んで広島に行き、帰りには各村で必要な日用品などを積んで帰るのです。舟頭たちは一日で用が足せない時には、善徳寺前の土手筋にあった舟宿に泊まっていました。